

GJ,SJ シリーズ 製品情報

GJ,SJ Series Lineup

GJ-500

処理容量	500kg / day
電源	200V 50 / 60Hz
最大消費電力	3,100W
製品外寸	W1,720 × D1,870 × H1,280
本体重量	1,000kg

GJ-250

処理容量	250kg / day
電源	200V 50 / 60Hz
最大消費電力	1,550W
製品外寸	W1,870 × D900 × H1,250
本体重量	500kg

GJ-50

処理容量	50kg / day
電源	100V 50 / 60Hz
最大消費電力	430W
製品外寸	W885 × D660 × H975
本体重量	190kg

GJ-20

処理容量	20kg / day
電源	100V 50 / 60Hz
最大消費電力	130W
製品外寸	W655 × D505 × H827
本体重量	72kg

GJ-350

処理容量	350kg / day
電源	200V 50 / 60Hz
最大消費電力	2,300W
製品外寸	W1,450 × D1,870 × H1,170
本体重量	800kg

GJ-100

処理容量	100kg / day
電源	100V 50 / 60Hz
最大消費電力	780W
製品外寸	W1,250 × D720 × H1,040
本体重量	330kg

GJ-30

処理容量	30kg / day
電源	100V 50 / 60Hz
最大消費電力	130W
製品外寸	W660 × D600 × H895
本体重量	120kg

SJ-200z(家庭用)

処理能力	1kg / day
電源	100V 50 / 60Hz
最大消費電力	15W
製品外寸	W429 × D206 × H335
本体質量	約5.5kg(乾燥重量)
排水口サイズ	180mm・185/外径
メンテナンス	1年に1回(有料)

製品に関するお問い合わせ・資料請求

シンクピア販売製造元

SINKPIA・JAPAN 株式会社

〒224-0021 神奈川県横浜市都筑区北山田3-5-26

シンクピア 検索 <http://www.sinkpia-j.co.jp>

お問い合わせ ☎ **0120-320-530**

※SINKPIA®のロゴマークはシンクピア・ジャパン株式会社の登録商標です。

※シンクザイム®はシンクピア・ジャパン株式会社の登録商標です。

※クラゲール®は株式会社クラレの登録商標です。



捨ててほしいのは、
これまでの生ごみ処理機の常識。

シンクピアが、業務用の生ごみ処理を変えていく。





今までの生ごみ処理機は、
処理したものを
取り出す必要がありました。

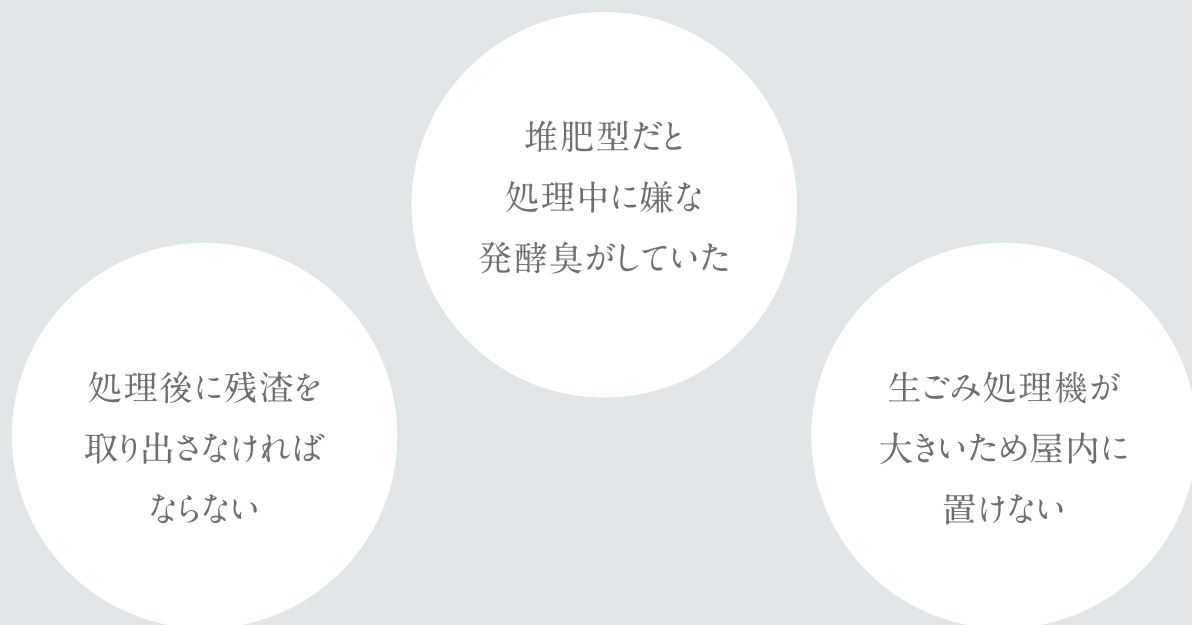


シンクピアなら、
およそ24時間で生ごみを液状に生分解。
もう、取り出す必要はありません。

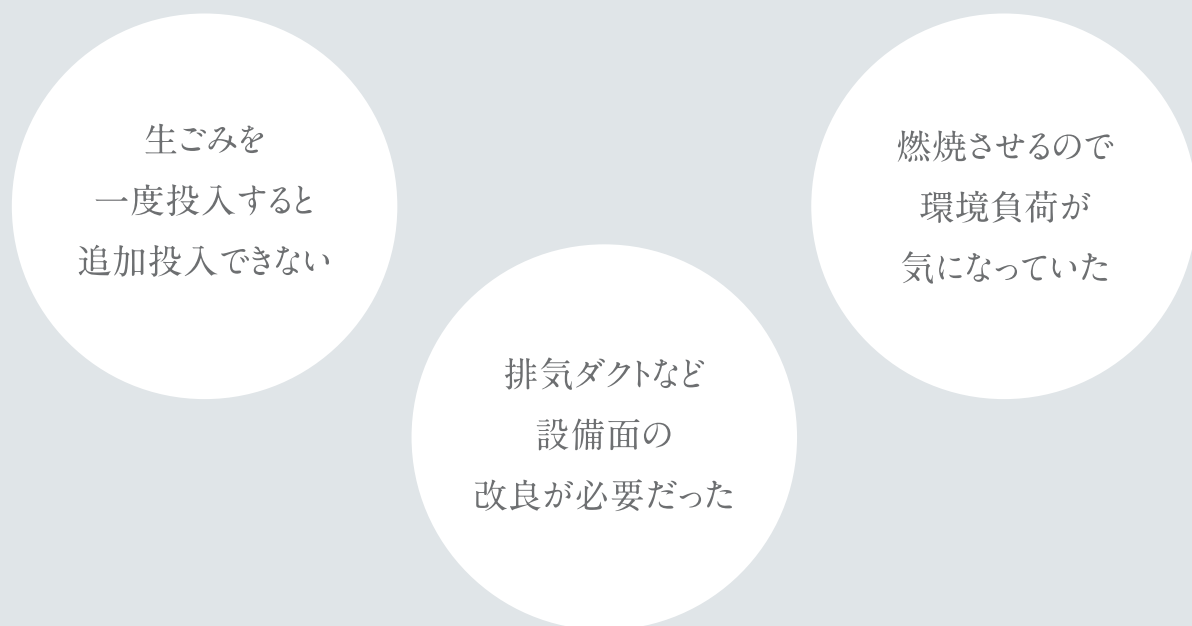


消滅型

微生物の力で生ごみを効率よく生分解。
堆肥型のように残渣が残らず、発酵臭を抑えました。



今までの生ごみ処理で、
こんな悩みはありませんか



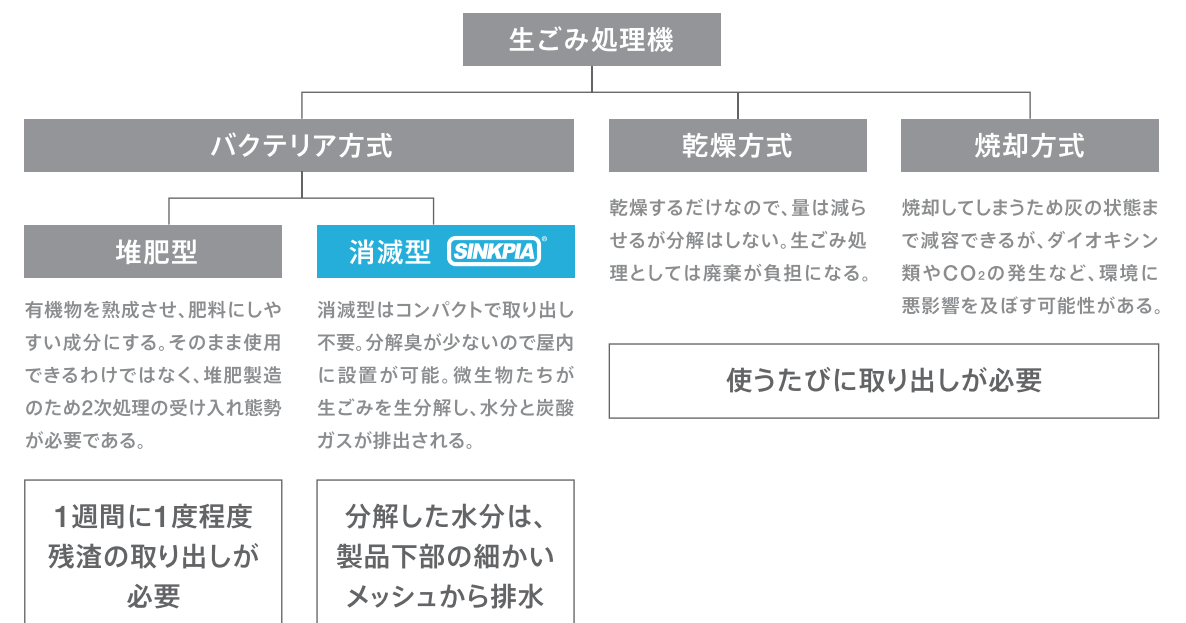
シンクピアの特長

Feature



他社製品との比較

Comparison



シンクピアが、 生ごみ処理の常識を変えていく。

ゼロからのスタート

おかげさまで、2006年9月に家庭用生ごみ処理機の第一号機「SINKPIA SP-100」を販売して以来、生ごみ処理機の設計・製作、販売を続け、本日（2016年9月5日）10周年を迎えました。

この事業を始める前は、電気製品販売業を約30年間営んでいましたが、家電量販店との価格競争が激化するにつれ、価格のみ重視する商売のあり方に疑問を感じるようになりました。

ちょうどその頃に出会ったのが、パクテリア方式「消滅型」の生ごみ処理機でした。各地の家庭に試験的に十数台を設置したところ、「臭いが少ない」、「残渣が出ない」、「消費電力が少ない」ということで、非常に喜んでいただき、「より多くの人に使っていただきたい」という思いだけを原動力に、シンクピアが生まれたと言っても過言ではありません。

とはいえ、当時の私たちは、生ごみ処理業界のことが何もわからず、展示会に出展した際、来場者様から業界の詳しい話や微生物についてアドバイスを頂くことも少なくありませんでした。まさにゼロからスタートし、手探りで前進してきたといえます。

思考錯誤の商品開発と 業界の信頼回復

販売開始当初は、製品の不具合が多く、試行錯誤の連続でした。トラブルが発生する度に、現場へ急行し、問題点を探し、改善策を練ってきました。数々の失敗や経験を活かし、現在の製品が出来上がりましたが、改良が終わることはありません。

私たちが直面した課題は、製品開発だけではありませんでした。生ごみ処理業界に対する世間の不信感は、私たちが思っていた以上に強く、営業訪問しても、追い返されることも珍しくありませんでした。2011年に業務用の販売を開始した際も、設置実績が少ないために苦戦を強いられました。

そのような苦しい環境の中、伊勢市の給食調理場で実証実験するチャンス을いただき、228日間で約9.3トンの生ごみ削減に成功しました。弊社のキャッチフレーズである、「運ばず・燃やさず・その場で処理」を、1年間のテストを経て実証することができたのです。

また、イトーヨーカドー様では、デモ機を数ヶ月間設置させていただいた結果、製品能力が認められ、各店舗への導入が決定しました。さらに、クラレ様の製品「微生物担持担体クラゲール」の独占的使用の話がまとまるなど、ようやく生ごみ処理機シンクピアの事業基盤が整ってまいりました。製品の良さを信じ、誠実・正直を貫き、あきらめずに進んできたことで、シンクピアを必要とするお客様に認めていただけるようになったのです。

室内設置を目指して

従来の生ごみ処理機は大型の製品が多いうえに、臭いの問題を解消する臭気筒や脱臭機が付随するため、広い設置スペースが必要でした。さらに、堆肥化利用の残渣の取り出しをする作業スペースも要します。そのため、屋外設置が主流となり、室内への設置事例は稀でした。

そういった状況の中、弊社はお客様の

さらなる利便性を追求し、生ごみ処理機の室内設置を目指しました。シンクピアが使用する微生物ハウスは多孔質構造で、1粒に数億個の微生物が棲みつきます。少ない量で、多くの微生物を棲ませることができるため、生ごみを処理するスピードがアップし、また、微生物の働きによって嫌な臭いを抑えることにも成功しました。製品のコンパクト化による室内設置も可能になりました。利便性が高まり、お客様からも高い評価をいただいています。今後も、シンクピア販売店様と協力しながら、お客様のニーズに真摯に耳をかたむけ、製品の改善・改良に取り組んでいきたいと思っています。

生ごみ処理の常識が変わる

現在、食品加工工場やスーパーマーケットなどに導入が始まっている大型機に力を入れる一方、セブンイレブン様数十店舗にてテスト導入している小型機の開発も日々行っています。

フェリー船内への導入、食品工場で悩まれているスクリーン残渣の処理など、新たな案件にも挑戦中で、今後も、新たな可能性が生まれる予感がしています。設置場所や処理が難しい場合もありますが、一件でも多くのお客様のご要望にお応えできるよう、チャレンジを続けていきます。

また、シンクピアが普及することによって、世界が直面している環境問題にも貢献できると自負しております。具体的には、シンクピアから排出する生物分解水を液体肥料化、飼料化するリサイクル研究開発を進めています。すでに、国内に留まらず、アジア、中東

などの海外マーケットからも注目され、実用化を求められています。今後も、「生ごみ削減」をテーマに、お客様の声や関係各社様の事例を活かしながら、環境問題に取り組んでいきます。

これからも、 お客様と向き合って

我々は、どんなに苦しい状況にあっても、大手企業にはマネができない、心のこもった商売を信念として歩んでまいりました。これからも、弊社の原点である「お客様を大切にする精神」が揺らぐことはありません。

よい商品を長く使っていただくことを大切にし、全国の販売店を拠点としたアフターフォローを徹底しているのも、商品の売りっぱなしではなく、メンテナンスを通じて末長くお客様と向き合っていきたいという考えからです。

今後も、お客様に本当に喜んでいただける製品とサービスを提供していくよう努めてまいります。



SINKPIA・JAPAN株式会社 代表取締役
松岡 清次

会 社 概 要		沿 革	
会社名	SINKPIA・JAPAN株式会社（シンクピア・ジャパン）	2006年	9月 設立 / 家庭用シンクピア SJ-100を販売
現住所	〒224-0021 神奈川県横浜市都筑区北山田3-5-26	2007年	12月 All About キッチン・オブ・ザ・イヤー2007「環境キッチン機器賞」受賞
TEL	045-590-3626	2008年	5月 財団法人北海道環境事業団・推奨商品
FAX	045-593-1150		8月 家庭用シンクピア SJ-200を発売
URL	http://www.sinkpia-j.co.jp	2009年	2月 JAPAN SHOP SYSTEM AWARDS 2009「優秀賞」受賞
代表取締役	松岡 清次		6月 第6回 環境経済人賞 受賞
資本金	2,100万円	2010年	1月 業務用生ごみ処理機を販売開始
設立	平成18年9月5日		4月 日本下水道協会 会員になりました
業務内容	1. ごみ処理機の設計、製作、販売及び輸出入 2. ごみ処理機のメンテナンス業務及びリース業務 3. 汚水・排水等の浄化装置の設計、製作、販売及び輸出入 4. 環境に関する水、油、空気等の浄化処理機器及び装置並びにシステム機器の開発、設計、製作、販売、賃貸、工事の施工、保守、輸出入並びに試験及び検査の請負 5. 環境対策、管理に関するコンサルティング 6. 前各号に付帯する一切の業務	2011年	2月 フード・アクション・ニッポン・アワード2010 研究開発・新技術部門入賞 7月 ヨコハマリデュースひろば 3R夢パートナー 参画 11月 イノベーションアイ・アワード2011 ファイナリスト10社に選出
		2012年	12月 エコプロダクツ2011 セブン＆アイ・ホールディングスブースに出展
		2013年	9月 家庭用シンクピア SJ-200zを販売 1月 業務用シンクピア GJ-500までラインナップ 全国食品リサイクル登録再生利用事業者事務連絡会 賛助会員
			12月 エコプロダクツ2013 株式会社クラレブースに出展
		2014年	12月 エコプロダクツ2014 セブン＆アイ・ホールディングスブースに出展 『食品残渣を液体肥料化する研究に着手』多数メディアに掲載
取引銀行	横浜銀行 港北ニュータウン北支店 横浜信用金庫 センター北支店 三井住友銀行 満ノ口支店 三菱東京UFJ銀行 たまプラーザ支店	2015年	2月 セブンイレブンに設置。研究をスタート 3月 大型機[GK-3200 / GK-6400]を販売開始
			12月 エコプロダクツ2015 セブン＆アイ・ホールディングスブースに出展
		2016年	1月 NECフィールディング株式会社 / 業務用シンクピアを販売開始